所属：鳥羽商船高等専門学校　一般教育科

研究タイトル：

スポーツ競技会運営



氏名：	山田　英生／Hideo Yamada	E-mail：	hide@toba-cmt.ac.jp
職名：	教授	学位：	修士(体育学)
所属学会・協会：	日本体育・スポーツ・健康学会、日本体力医学会、日本陸上競技学会		

キーワード：	スポーツ競技会運営、部活動の地域移行、スポーツ科学
技術相談 提供可能技術：	

研究内容：公立中学校部活動の地域移行後のスポーツ競技会運営について(今後取り組みたい課題)

☆公立中学校部活動の地域移行(2022　スポーツ庁)
・まずは休日における地域の環境整備を着実に推進
・令和 5 年度から令和 7 年度までの 3 年間を改革推進期間として地域連携地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す。

☆プロスポーツを除く日本のスポーツ競技会
多くは土日・その他休日に実施されている。
・平日開催では、学校の授業や社会人の勤務日と重なる。→競技役員の確保が難しい。
・多くの教員が、引率を兼ねて審判員等の競技役員として従事している。

☆疑問点
・各都道府県の競技団体における中学校教員の審判員の割合は？
・公立中学校教員が休日の競技会の審判員として従事しにくくなった場合、競技会運営(とりわけ中学校の競技会)が成り立つのだろうか？
・地方と大都市圏とでは、それらの様相に違いがあるのか？

☆この研究で目指すこと
スポーツ競技団体における中学校教員の審判員の割合と、今後生じることが予想される競技会運営上の問題を調査し、公立中学校部活動の地域移行後におけるスポーツ競技会運営を円滑に行っていくためのモデルケース構築に寄与したい。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	